

『アドバンス・ケア・プランニング（ACP）』もしくは『人生会議』という言葉をお聞きになったことがありますでしょうか？簡単に言うと“もしものときのための話し合い”です。「意思決定能力が低下する前から、本人の意思を尊重して、ご家族さらには医療介護者が一緒になってケア全体の目標や具体的な治療・療養方針について話し合う過程（プロセス）」ということになります。

従来日本では、「死」について語ることは縁起でもないという理由から避けられる傾向にありました。しかし、人生の最後は必ず誰にでもやってきます。元気で決定能力のしっかりしている時点から、「何を大切にしたいか、どのように生きていきたいか、どんな場所で、どのような最期を迎えたいのか」こうしたことを繰り返し話し合うことは、自分らしい、より良い人生を全うしていくことにつながっていきます。

当院では、館林邑楽地区オリジナルの「もしものときに想いを伝える手帳」（愛称：MOTTE<sup>もって</sup>）試用版を体験するお手伝いを行っております。どうぞお気軽にご相談ください。

